

2月号

学校だより

横浜市立小机小学校

〒222-0036

横浜市港北区小机町1382-10

TEL 045-472-8591

令和7年1月31日発行



小机小学校教育目標

心豊かに学び合い、ともに伸びる子

小机小学校のホームページは右記のQRコードでご覧になれます。



春夏秋冬

～ 小机小学校 校歌 ～

校長 遠藤 淳子



3月中旬・下旬とも言われる気候が続いています。暖かな気温に、学校敷地内の水仙が咲き、梅も桜も、蕾が一気に膨らみ始めています。

1月14日(火)には、土井町内会からお話をいただき、第一公園で行われた「どんど焼き」に3年生児童が参加することができました。お焚き上げの儀式(年神様を見送り、五穀豊穡や無病息災を願うと言われる儀式)も体験させていただき、日本の伝統行事である小正月の意味を知るよい機会となりました。

小機の学区には、各地でなくなりつつあるこうした日本の伝統行事・地域行事がたくさん残っています。こうして、地域の皆様が引き継ぎ、守ってくださっている季節行事を小さいうちから経験できる子ども達は幸せです。社会科で「各地域の引き継がれている祭り」を学習している4年生担任も「見に行きたかった」と話すほどでした。今年も、気候変動が心配ではありますが、小机・城郷地区に残る「伝統」・「地域の繋がり」ある地域行事を、子ども達には「参加・体験・実感」しながら学んでいってほしいと願います。地域の皆様に見守られて、子ども達は「小机の子」になると思われます。

1月19日(日)には、体育館で「日本ボーイスカウト 横浜第20団 新年会」が行われました。そこで、同じく来賓として参加されていた地域にお住いの音楽プロデューサー新田 和長 様にお目にかかることができました。新田 様は、今から42年前の開校当時に、初代校長やPTA会長からの依頼を受けて、作詞：岩谷時子、作曲：弾 厚作(加山雄三)の黄金コンビでの校歌作成にご尽力くださった方です。

ボーイスカウトさんがご準備くださったつきたてお餅の入った温かな雑煮をいただきながら、新田 様から、校歌作成当時のお話を伺いました。歌詞を書くために岩谷 様には小机まで足を運んでいただき、小学校から鶴見川を見下ろす田んぼの中に見た「白鷺が飛ぶ」様子、また、校舎が立つ地から「富士が見える」様子がそのまま歌詞となったこと。当時、全国の多くの学校から校歌の作成依頼を受けていた加山 様は、岩谷 様との作詞・作曲なら、と本校校歌作成をお引き受けくださり、「他校の校歌とはちょっと違うようなメロディー」をと考えてくださったこと。そして、「春夏秋冬 元気いっぱい」という部分のメロディーがとてもお気に入り、何度も大きな声で歌っていらしたこと。42年の時が流れても、歌詞通りの光景は今でも小机に見られ、毎年、入学式後の1年生は加山 様同様に、「春夏秋冬 元気いっぱい」と、歌詞通りに元気に歌い上げます。

卒業式までの6年生の登校日は、残り40日を切りました。自然豊かで日本の伝統が残るここ、小机で育った6年生も、卒業式では、担任の指揮に合わせて最後の校歌を歌い、小学校を羽ばたきます。

講師を何度かお迎えして、実際に教えていただきながら、手話クラブが今年度の活動で校歌に「手話」をつけました。出来上がったら、新田 様、加山 様にも見ていただきたいと夢や希望が広がります。

「春夏秋冬 元気いっぱい 心ゆたかに」「春夏秋冬 希望いっぱい 人にやさしく」という校歌のような子ども達を育てていく小机小学校でありたいと思います。小学校時代の、そして子ども達にとって、今後の人生においても、何よりのエールとなる楽曲をいただきましたことに、改めて感謝したいと思っています。

保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き、子ども達の健全育成にご協力いただきたくお願い申し上げます。

年間目標『あいさつをしよう』

(あ…明るく い…いつも さ…先に つ…続けよう)

今月の目標 《生活》寒さに負けない生活をしよう

2月

《保健》正しい姿勢を身に付けよう

《給食》寒さに負けない食事をしよう

